

平成 30 年度 事業報告

岡山理科大学専門学校

建築と動物そして水生生物のスペシャリストを養成。学生、保護者、学校、地域、関連業界の皆様へ支持され愛される学校を目指します。



本校は、節目の50周年に向けて職業を意識した専門学校として、企業・業界・社会のニーズに対応した質の高い教育を目指します。そして、文部科学省が推進する高度職業実践の高等教育機関創

設という将来展望に対し、柔軟に対処できるよう、将来性を意識した学校運営に取り組んで参ります。

重点施策としては、

1. 業界団体の意見や要望に応え得る人材育成のために、職業人育成に主眼を置き、教育内容の改善を行います。
2. 「職業実践専門課程」を有する学校として、業界団体等が行う技術研修へ教員派遣を積極的に進め、教員の資質向上に努めます。
3. より実効性のある教育体制を構築するために、教育組織の改善に取り組みます。
4. 急速に変遷し、グローバル化する社会のニーズを真摯に受け入れ、本校の特徴を生かして柔軟に対応して行きます。
5. 本校のブランディング効果を上げるため、全教職員が協力して学校教育に当たります。

岡山理科大学専門学校 校長 奥田 宏健

教育の充実

■動物系学科の改組・再編について

- (1) ドッグトレーニング学科において、これまでのドッグトレーニングだけでなく、動物のメディカルトレーニングに関する分野のカリキュラムも加え幅広く充実させることにより、動物関連企業や動物病院など動物医療系方面にも就職可能な学科とする準備が完了しました。カリキュラム実施は次年度入学者からとなります。
- (2) 職業実践専門課程認定学科の更なる教育の質の向上に努め、認定効果を広くPRして、学校の存在価値と評価を高めました。

■教育課程の再編

- (1) 全学科の教育課程の変更に伴うシラバス改定を行いました。
- (2) 動物看護学科3年制(高度看護医療・臨床検査コース)を充実させ、新たな資格取得を行い、職域を拡大することができました。また、現在認定されている動物看護師資格が国家資格化へ動きだしました。

研究の充実

■産官学連携の教育

- (1) 関連団体等主催の各種研修会への教職員派遣を

推進し、最新の技術や知識を修得させ、教員個々の研究力向上を図りました。

- (2) 校内倫理委員会を設け、獣医療研究を推進しました。

学生支援

■生活支援

- (1) カウンセラーの在校頻度を高め、学生の心のケアサポートに努めました。今年度の利用は19件で学生の生活の悩みや心のケアの改善に努めました。
- (2) 学校便り (RiSEN 通信) を年2回発刊し、保護者へ郵送することで、保護者の学校理解を促進しました。

■修学支援

- (1) 資格試験に向けた補講・補習を時間外に実施し、学生満足度の向上に努めました。
- (2) チューター制を活かした学習相談の充実を図り実施しました。

■就職支援

- (1) 一部の学科カリキュラムの中に、キャリアデザインを開講し、職業人意識の高揚を行いました。
- (2) インターンシップを促進し、就職のミスマッチをなくすと共に就職の機会を拡大しました。多くの学生より、充実出来たことの報告がありました。
- (3) 卒業生の就職先を訪問し、事業者と卒業生の声に耳を傾け、早期離職者の低減に努めました。

また、離職した卒業生を対象に就職懇談を実施展開しました。

・ 就職活動ガイダンス

1 年生	4 月	キャリア教育講座 インターンシップ講座(1)(動物看護)
	6 月	職業理解と労働法規講座 インターンシップ講座(1)(トリミング、ドッグトレーニング)
	12月	履歴書の書き方講座(1)(アカリウム)

1 年生	1 月	履歴書の書き方講座(1)(建築、動物看護、ドッグトレーニング、トリミング) インターンシップ講座(1)(トリミング、アカリウム)
	2 月	合同企業説明会参加マナー講座(1)
2 年生	4 月	履歴書の書き方講座(2)(建築) 面接講座 インターンシップ講座(2)(動物系各学科)
	5 月	合同企業説明会参加マナー講座(2) 内定礼状の書き方講座(トリミング)
	6 月	内定礼状の書き方講座(建築、動物看護、ドッグトレーニング、アカリウム)
	7 月	合同就職面接会参加マナー講座(3)

■留学生支援

日本語教科書の読解のサポートをし、日常生活支援に努めました。

社会連携・社会貢献

■地域動物医療への貢献

校内の臨床検査室を充実させ、地域の動物病院からの各種臨床検査要望に応えました。

また、近隣地域の方々の要請により、犬や猫以外の動物の診療も行いました。今後、更に拡大して行けるように準備したいと考えています。

■地域との交流

地元地域の行事に積極的に参画し、学生によるボランティア活動を推進することで、地域に貢献しました。今後も継続的に実施したいと考えます。

教育研究環境

■施設の充実

- (1) 学生利用施設の点検・補修に努め、快適な生活環境の充実を図ることができました。
- (2) 学校入り口の環境美化を実践しました。今後も

継続的に実施したいと考えます。

学生の受入

■受験生との接触機会の拡大

- (1) 資料請求実績の高い地域・高校での進学説明会へ参加し、直接的なPRを展開しました。
- (2) SNS などを利用したスマートフォン向けの情報発信も行いました。
- (3) 高い就職実績と資格取得率のタイムリーな情報を発信することができました。
- (4) 社会人学生の受入を推進するため、様々な媒体を活用し、広角にPRしました。
- (5) オープンキャンパスにおいて、在校生を活用した学校PRに努めました。

内部質保証

■FD・SD

- (1) 校内教職員研修規定に則り、教職員研修を推進し、教職員の資質向上と人脈の拡張に努めました。
- (2) コンプライアンスの徹底を図りました。
- (3) 本校の価値を高めるため、教職員全員の学校ブランド化意識の向上を図りました。

その他の取組

■効率よい授業展開

授業担当者の見直しを進め、校内の人的資源を有効に配置することで、教育内容の向上に努めました。

■コスト削減

教職員の業務遂行に職務意識の高揚を求め、経費の抑制を促しました。

主な行事

4月8日	入学式
4月10日、11日	オリエンテーション（夜間部） オリエンテーション（昼間部）
4月13日	授業開始（夜間部） 授業開始（昼間部）
6月15日	球技大会
7月18日～8月19日	夏季休暇
9月4日～8日	前期末試験 （夜間部は9/9まで）
10月2日	後期授業開始
10月21日、22日	Risen祭
12月23日～1月6日	冬季休暇
1月29日～2月2日	後期末試験 （夜間部1/29～2/3）
3月20日	卒業式

学生・教職員数

■ 在籍学生数

(平成30年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
工業 専門課程	建築学科(昼間部)	40	52	80	89
	建築学科(夜間部)	20	13	40	26
	福祉住環境デザイン学科	(募集停止)	—	—	—
	計	60	65	120	115
商業実務 専門課程	映像情報学科	(募集停止)	—	—	—
	計	(募集停止)	0	0	0
文化・教養 専門課程	動物看護学科 3年制	30	9	90	24
	" 2年制	20	24	40	47
	トリミング学科	40	28	80	47
	ドッグトレーニング学科	40	18	80	45
	アクアリウム学科	40	29	80	59
	計	170	108	370	222
合計		230	173	490	337
専攻科	建築学科専攻科	10	18	10	18
研究科	動物系総合学科研究科	10	14	10	14

(単位：人)

■ 卒業生数等一覧

(平成30年度)

区分	卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
岡山理科大学専門学校	179	141	132	94%	23	24	1	3

※ 修業年限を超えて在籍している学生数 (平成31年4月1日現在)

(単位：人)

主な就職先	倉敷市役所、(株)山陽設計、(株)大本組、住友不動産(株)、ライフデザイン・カバヤ(株)、ACC福山総合動物医療センター、(有)アマノ動物病院、津山獣医科病院、イオンペットビューティサロン 姫路大津店、ドッグ・セブン、ドッグサロンピュア(2店舗)、ポジティブウインド、ペットショップヤマモト 大安寺店、(有)ふれ愛どろぶつ村、(株)富山学園(宮島水族館)、神畑養魚(株)、(株)串本マリンファーム、他103社
-------	--

■ 教職員数

(平成30年5月1日現在)

校長	教員	教員 計	事務職員
1	10	11	9

(単位：人)

財務関係

■事業活動収支

(単位：千円)

科目		30年度 決算額	前年度 決算額
教育 活動 収入	学生生徒等納付金収入	293,976	298,640
	経常費等補助金	64	60
	その他収入	5,914	11,804
	計	299,953	310,505
教育 活動 支出	人件費	175,925	189,022
	教育研究経費	63,837	70,921
	管理経費	27,426	27,668
	その他支出	0	0
計	267,188	287,611	
教育活動収支差額		32,765	22,894
教 活 外	収 受 取 利 息 等	1	1
	支 借 入 金 利 息 等	405	463
教育活動外収支差額		△404	△462
経常収支差額		32,361	22,432
特 別	収 資 産 売 却 差 額 等	203	203
	支 資 産 処 分 差 額 等	77	17
特別収支差額		126	186
基本金組入前収支差額		32,487	22,618
基本金組入額合計		△17,462	△17,262
当年度収支差額		15,025	5,356

■施設設備計画

(単位：千円)

事業名	金額
第三校舎2階 ピロティール仕切り工事	1,000